

ことばが未来を変える

校長 鈴木 恵 一

◆3年生の君へ

卒業するあなたに私の好きな言葉を贈ります。

身体は食べたものでつくられる

心は聴いたことばでつくられる

未来は話したことばでつくられる

(株) トーイズ代表取締役 北原 照久氏の「ことばのコレクション」より。

私なりに解釈すると、五感を通じて自己の内面に刻み込んだこと、感じたこと、経験したことのすべてが人の心を磨いてくれるのだらうと思うのです。以前、全校集会で話したインプットとアウトプットに通じる内容です。自己の内面に潜在するものを言語化することによって人は成長し心が磨かれます。自ら発した言葉が未来のあなたをつくりあげるのである。

特別な才能なんていません。誠実に物事と向き合い他者と向き合うことです。人は同質の中だけでは成長できません。だからあなたは啓北から巣立つのです。これからの時代は、新たな異質性と交わり多様性を受容し尊重することがますます求められます。そして、常に自分と向き合うことを忘れないでください。それが本物の「メシが食えるオトナ」になるということなんだよ。大丈夫、君ならできる！

◆1・2年生の君へ

3年生の『キャリアデザイン』という科目でこんな話をしました。数量化された点数や成績は目に見える力。大切なのは見えない力。人としての心。地中に隠れている根。根っこを太く深く伸ばさないと、幹も枝葉も果実（まなびの成果）も良いものにはな

らないんだ。じゃあ、こころの根っこを伸ばすためにどうしたらいいんだろうね。常に問いを立て続けよう。

「なぜ学ばなければならないの？」「なぜ働かなければならないの？」

その解は、新たな気づきを得て成熟度が増すごとに変化し上書きされていきます。「キャリア」の語源はラテン語の馬車の車輪の跡「轍（わだち）」だそうです。過去の轍を消すことはできないけれど、未来へつながる自分だけの物語を自分の手で書き続けることはできます。成功しても失敗してもすべて自分の根っこから吸収されて栄養になる。出会ったヒト、コト、モノと真剣に向き合い続ければ、なりたい自分、ありたい自分に近づける。未来の自分のためにポジティブな言葉を発し続けよう。

それが本物の「メシが食えるオトナ」になるということなんだよ。大丈夫、君ならできる！